新型コロナウイルス感染拡大による社会変化を加味した「次期　滋賀県農業・水産業基本計画改定」について

第3回滋賀県農業・水産業基本計画審議会 資料④
令和2年(2020年)8月24日　滋賀県農政水産部

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の長期化

社会情勢の変化	課題（社会情勢の変化に「農畜水産業」としてどう対処しうるか）	政策の方向性（課題にどのように対応するか） 次期　滋賀県農業・水産業基本計画における「目指す姿」の視点	具体的な施策
暮らしの変化 **就労・教育の変化** 時差出勤、テレワーク、Net会議等による「新しい働き方」の進展 オンライン授業、家庭学習の増加	(＋)個人時間の増加 (＋)家族との時間の増加 (＋)ネットワーク環境整備の充実 (－)共感力の損失 (－)人との接点の減少 (－)給食関連事業者の経営悪化、食品廃棄量の増加 (－)ネット環境脱落者との格差拡大	【新】滋賀県農畜水産物・農村生活の魅力の発信 農業・農村への多様な人々の多様な参画の促進	子ども・若者に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・1 大人に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・2 農業・農作業の持つ多面的機能を活かした環境共生型の社会づくりを推進します。 人・5 集落の力と多様な主体との連携による農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承に向けた取り組みを支援します。 社会	・学校給食、食育、農業・漁業体験、農業・漁業に関する情報発信 ・多様な主体との連携・協働による農村地域の活性化の推進 ・都市的地域と農村地域が近接する滋賀ならではの特性を生かした「新規半農半X」の確保・育成 ・都市的地域と農村地域が近接する滋賀ならではの特性を生かした農業・農作業の持つ福祉機能に着目した取組への県民の参加促進 ・5Gなどの通信環境の整備、スマート農業等を活用した農地・水路等の保全に係る省力化技術の導入 ・中山間地域に特化したスマート農業新技術の推進 ・兼業農家、小農など、「既存の半農半X」を活用した農業・農村の維持・活性化
住まいの変化 都市部から地方都市へのIJUへの関心の高まり	(＋)人口減少の進む地方都市の振興 (＋)一次産業への関心の高まり (－)都市部の空洞化		
食事の変化 中食・内食需要の増加	(＋)テイクアウト・宅配需要の増加 (＋)「健康」、「安全・安心」への関心の高まり (－)外食業、宿泊業の衰退・廃業 (－)高級食材、地場産食材、お土産食材の消費量の減少	【新】滋賀県農畜水産物・農村生活の魅力の発信 【新】県産農畜水産物の消費拡大の推進 【新】新たな地産地消の推進	子ども・若者に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・1 大人に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・2 食品関連事業者に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・4 既存需要への確かな対応と新たな需要の開拓や販路拡大に向けて、農地・農業技術等のフル活用を進めます。 経済・2	・学校給食、食育、農業・漁業体験、農業・漁業に関する情報発信 ・近江米や県産園芸品目の消費場面における魅力発信や新たな利活用の提案によるファン拡大 ・通販や宅配などによる販売方法の複合化の推進 ・「おいしが うれしが」キャンペーンによる地産地消推進事業者の拡大と取組の活性化 ・地域からの漁獲状況の発信や一元集出荷等による事業者とのマッチング ・市場等における事業継続計画作成の推進などによる食品の安定流通の確保 ・用途や品種毎の需要の動向(変化)に柔軟に対応する米づくりの促進 ・国産需要が見込める麦・大豆、非主食用米の本作化 ・パン用をはじめ麺用(うどん、ラーメン)、もち麦等の新たな用途に適する麦品種の選定と普及 ・契約栽培を中心とした加工用野菜産地の育成、水田果樹の展開、オーガニックなどの特徴あるお茶の生産拡大 ・生産性の高い大規模施設園芸の導入による新たな農業経営の確立 ・オーガニック近江米の省力安定生産技術の拡大
余暇・地域活動の変化 余暇の過ごし方、地域活動への関わり方の変化	(＋)「屋内」ではなく「屋外」でのレジャー需要の増加 (＋)安値、安全、安心、近くのレジャー需要の増加 (＋)個人時間の増加 (＋)家族との時間の増加 (＋)巣ごもり消費の拡大 (＋)オンラインショッピングの需要増加 (－)外食業、宿泊業の衰退・廃業 (－)高級食材、地場産食材、お土産食材の消費量の減少 (－)イベント・セレモニーの減少 (－)村における祭礼・行事等の共同活動の簡素化に伴う人々の「絆」の弱まりへの危惧	【新】滋賀県農畜水産物・農村生活の魅力の発信 【新】県産農畜水産物の消費拡大の推進 【新】新たな地産地消の推進 農業・農村への多様な人々の多様な参画の促進	子ども・若者に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・1 大人に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・2 食品関連事業者に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・4 農業・農作業の持つ多面的機能を活かした環境共生型の社会づくりを推進します。 人・5 既存需要への確かな対応と新たな需要の開拓や販路拡大に向けて、農地・農業技術等のフル活用を進めます。 経済・2 集落の力と多様な主体との連携による農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承に向けた取り組みを支援 社会	・学校給食、食育、農業・漁業体験、農業・漁業に関する情報発信 ・観光農園や農業体験などのサービス提供による消費者との接点強化による直売所等の活性化 ・クラウドファンディング等の活用による県産農畜水産物のファン拡大 ・「おいしが うれしが」キャンペーンによる地産地消推進事業者の拡大と取組の活性化 ・地域からの漁獲状況の発信や一元集出荷等による事業者とのマッチング ・都市的地域と農村地域が近接する滋賀ならではの特性を生かした農業・農作業の持つ福祉機能に着目した取組への県民の参加促進 ・パン用をはじめ麺用(うどん、ラーメン)、もち麦等の新たな用途に適する麦品種の選定と普及 ・生産性の高い大規模施設園芸の導入による新たな農業経営の確立 ・大規模花き生産者の育成による安定した花き供給体制の確立 ・5Gなどの通信環境の整備、スマート農業等を活用した農地・水路等の保全に係る省力化技術の導入 ・中山間地域に特化したスマート農業新技術の推進 ・兼業農家、小農など、「既存の半農半X」を活用した農業・農村の維持・活性化
老後の変化 老後の過ごし方の変化	(＋)健康・運動・食生活への関心、気づきの増加 (－)運動量の減少、ストレスの増大、寿命の短縮	農業・農村への多様な人々の多様な参画の促進	大人に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・2 農業・農作業の持つ多面的機能を活かした環境共生型の社会づくりを推進します。 人・5	・都市的地域と農村地域が近接する滋賀ならではの特性を生かした「新規半農半X」の確保・育成 ・都市的地域と農村地域が近接する滋賀の特性を生かした農業・農作業の持つ福祉機能に着目した取組への県民の参加促進 ・定年退職後の働きたいシニアの力を活用した福祉事業所等と農業者とのマッチング制度の構築
経済の変化 **ひと・お金の変化** ・グローバル化の停滞(ひと) ・民間企業の事業収入に伴う事業収入の減少 往来自粛による交通、観光の減少 ・食事の変化 ・余暇・地域活動の変化	(＋)オンライン商談会の増加 (＋)転職希望者の増加 (－)対面した商談機会の減少 (－)外国人労働者の減少 (－)失業者の増加	【新】滋賀県農畜水産物・農村生活の魅力の発信 新規農業・漁業従事者の育成・確保	大人に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・2 滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを持った人を新規就農・新規漁業者に導きます。 人・3 農業・水産業を魅力ある職業にします。 経済・1	・都市的地域と農村地域が近接する滋賀ならではの特性を生かした「新規半農半X」の確保・育成 ・就農希望者に対する就農・就職等に関する情報提供や相談活動、就農準備への支援 ・農業法人等への就職を促進するためのマッチング機会の充実 ・しがの漁業技術研修センターの開設、就業相談 ・スマート農業の導入、琵琶湖漁業のICT化の検討 ・農業法人等への就職者の定着推進 ・生産性の高い大規模施設園芸の導入による新たな農業経営の確立
ものの変化 グローバル化の停滞(もの) 国内流通量の減少	(＋)国産品への需要増大 (＋)地産地消の機運の高まり (＋)近距離輸送の増加 (－)食料安全保障への不安の増大 (－)外国産生産資材(農業機械、肥料・農薬、家畜飼料等)の輸入停滞 (－)遠距離(大産地)からの輸送減少	【新】新たな地産地消の推進 【新】県産農畜水産物の消費拡大の推進 気候変動対策等の推進	子ども・若者に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・1 大人に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・2 食品関連事業者に対し、滋賀県の農業・水産業への関心・関わりを高めます。 人・4 既存需要への確かな対応と新たな需要の開拓や販路拡大に向けて、農地・農業技術等のフル活用を進めます。 経済・2 農業による琵琶湖を取り巻く環境の保全対策を推進します。 環境・1	・学校給食、食育、農業・漁業体験、農業・漁業に関する情報発信 ・近江米や県産園芸品目の消費場面における魅力発信や新たな利活用の提案によるファン拡大 ・観光農園や農業体験などの提供による消費者との繋がり強化による直売所や観光農園の活性化 ・物流拠点や食料安定供給拠点等としての直売所の機能強化 ・「おいしが うれしが」キャンペーンによる地産地消推進事業者の拡大と取組の活性化 ・地域からの漁獲状況の発信や一元集出荷等による事業者とのマッチング ・用途や品種毎の需要の動向(変化)に柔軟に対応する米づくりの促進 ・国産需要が見込める麦・大豆、非主食用米の本作化 ・契約栽培を中心とした加工用野菜産地の育成、水田果樹の展開、オーガニックなどの特徴あるお茶の生産拡大 ・生産性の高い大規模施設園芸の導入による新たな農業経営の確立 ・オーガニック近江米の省力安定生産技術の拡大 ・海外マーケットに対応した輸出用米の生産(主食用米、醸造用米) ・環境負荷をさらに削減できる技術開発とその普及 ・堆肥のペレット化等、堆肥の広域流通の取組の推進
環境の変化 地球温暖化への影響	(＋)経済活動停滞による温室効果ガスの (－)経済活動回復にむけた経済対策優先により温室効果ガス発生の増加(長期的には)	気候変動対策等の推進	農業による琵琶湖を取り巻く環境の保全対策を推進します。 環境・1	・環境負荷をさらに削減できる技術開発とその普及 ・堆肥のペレット化等、堆肥の広域流通の取組の推進